

特定非営利活動法人 学習開発研究所

平成 16 年度研修事業

学習開発基礎講座

ごあんない

初版 平成 16 年 7 月 12 日
第 2 版 平成 16 年 8 月 10 日
第 3 版 平成 16 年 8 月 23 日
第 4 版 平成 16 年 8 月 28 日

学習開発基礎講座



指導者 西之園晴夫

文部科学省は2003年5月に、『「教育の構造改革」 画一と受身から自立と創造へ』というパンフレットを公開しました (http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/15/05/03052701.htm)。

初等中等教育から高等教育にいたるまでの構造改革が必要であることを指摘しています。わが国も国民の期待に応えるものとしての教育改革が、「画一と受身から自立と創造へ」の転換であることが認められるようになりました。この理念は、具体的にはつぎのようになっています。

- (1) 「個性」と「能力」の尊重
- (2) 「社会性」と「国際性」の涵養
- (3) 「多様性」と「選択」の重視
- (4) 「公開」と「評価」の推進

このような状況にあっても、コンピュータやインターネットが従来の教育の構造のままで導入されている例もみられます。

この講座では、教育の情報化に対応して、自立と創造を目指した授業を実現したいと願っている者が集まって、「協調学習」あるいは「チーム学習」を基本に学習開発することを目指します。

受講の学習成果：

各自が当面している授業の問題点を明らかにして、自立と創造を目指して構造改革するために、チームで協力しながら1学期あるいは1単元に相当する新しい授業を開発します。

学習指導者：

西之園 晴夫

特定非営利活動法人学習開発研究所代表
京都教育大学名誉教授、佛教大学教授

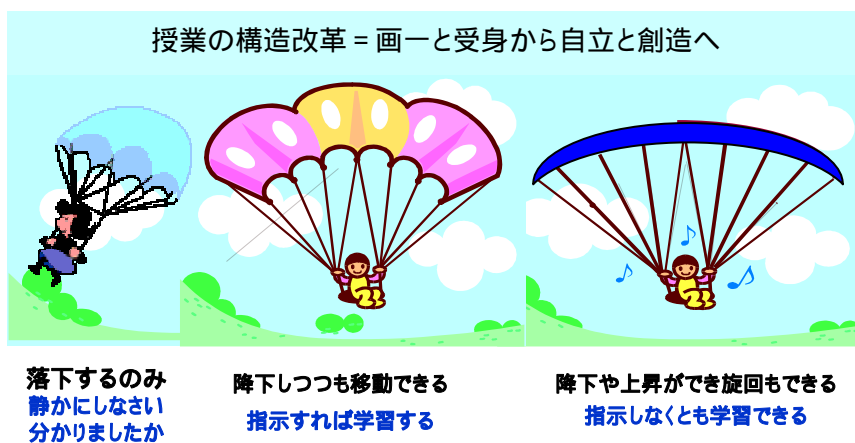
指導助手：

望月 紫帆

特定非営利活動法人学習開発研究所 専従所員

対象者：

教科学習、総合的な学習、コンピュータやインターネットを利用した学習など、学習者が主体的に学習するための教材を開発したり、授業を実施・管理したりするための資質向上を目指している教師、研修担当者あるいは一般市民で、学習指導について学びたい入門者。



望月紫帆 助手

開講期間：

平成 16 年 9 月 4 日（土）～12 月 25 日（土）の 16 週間

指導方法：

受講者数名からなるチームを編成し、チームのメンバー同士のコミュニケーション活動による学習（協調学習）を重視する。

毎週ホームページから指定する課題をダウンロードし、受講生がお互いに報告しあうなどのオンライン協調学習方式で実施する。

さらに、毎月第 1 土曜日（午前中）に集合講習会を実施するが、就学、勤務、家事などの状況に応じてオンライン学習のみでも受講可。

なおオンライン学習への対応は毎週金曜日夜から月曜日夜までを定例とする。

受講者に必要な設備：

インターネットに接続できるパソコンとプリンタ。教材を閲覧・印刷したり、レポートを作成したりするために Adobe Reader(無償でダウンロード可能)、Word、Excel、PowerPoint を使用する。インターネットはブロードバンドで接続されていることが望ましい（ISDN 接続でも可）。

定 員：

20 名(先着順)

修了証の発行：

学習に積極的に参加し、指定のレポートを提出し、規定の水準に達していると判定された受講者には修了証を郵送する。（平成 17 年 1 月末発送予定）

費 用：

	NPO 法人学習開発研究所会員	一 般
オンライン受講料	無料	8,000 円
集合講習会の資料代・その他	各回 2,000 円	各回 2,000 円
テキスト、通信費	受講生負担	受講生負担

テキスト：

本研究所が開発した教材を、受講者自身が研究所指定のホームページからダウンロードし、印刷する（印刷・送付のサービスを計画中）。

参考文献：

「教育の方法と技術」（西之園晴夫，宮寺晃夫共編，ミネルヴァ書房 ¥2,940）

「教科と総合に活かすポートフォリオ評価法—新たな評価基準の創出に向けて」

（西岡加名恵，図書文化，¥2,625）

授業内容概要：(受講者の興味関心や学習の進み具合によって修正することもある)

(8月23日改定)

週	集合講習会 実施日	テーマ
1	9月4日午前	氷砕き(Ice breaking)と課題の共有(受講者のチーム編成)
2	オンライン	落下傘からパラグライダーへ - どのように飛んだか。学習者の力を信じる
3	オンライン	イメージと主観と経験からのスタート, 自分の教育技術を信じる
4	オンライン	学ぶ意味を創る, 上昇気流は見付けられますか
5	10月2日午前	問題の共有と学習活動の意味づけ, 学習成果(着地点)の合意
6	オンライン	MACETO モデルから指導マップを創る(PowerPoint を使用)
7	オンライン	学習事象の記述と順序の系列化, ニンジンとムチからの開放
8	オンライン	評価規準と評価基準表を使った授業実践
9	オンライン	経験からの系列化, 学習権の承認, 学習力の回復
10	11月6日午前	学習者に理解できる目標の記述と学習管理(Excel を使用)
11	オンライン	チーム学習と個人学習のための学習資源の共有化
12	オンライン	教える系列の論理と学ぶ系列の構造
13	オンライン	経験を洗練する授業分析, 経験の伝達可能性
14	12月4日午前	設計成果の発表
15	オンライン	さまざまな学習管理プラットフォーム
16	オンライン	少子変動社会における学習開発と教育技術の向上, 今後の課題

講師略歴：

西之園 晴夫

日本教育工学会、教育システム情報学会、日本教育実践学会などで活躍。

とくに自分の授業を対象として研究論文を書いており、教育方法や教育技術についての論文多数。主に大学での自分の授業を研究。

1959年 京都大学工学部電子工学科卒業

1961年 京都大学教育学部教育課程コース卒業

1961-68年 京都大学工業教員養成所電気工学科助手、助教授

1968-93年 京都教育大学教育学部技術職業科助教授、教育工学センター、教育実践研究指導センター教授

1993-98年 鳴門教育大学大学院教授。修士課程、兵庫教育大学連合大学院の博士課程で研究と指導

1999年～ 佛教大学教育学部教授。学部、修士課程、博士課程で研究と指導

望月 紫帆

2002年 佛教大学教育学部教育学科卒業

2004年 佛教大学教育学研究科生涯教育専攻修了